

目次

AdGuard for Windows インストールと設定	2
インストール、基本設定、ライセンス認証	2
使い方のヒント	3
AdGuardアカウント作成とライセンスキー登録（任意）	3
AdGuard for macOS インストールと設定	5
インストール、基本設定、ライセンス認証	5
使い方のヒント	6
AdGuardアカウント作成とライセンスキー登録（任意）	7
AdGuard for Android インストールと設定	8
インストールとライセンス認証	8
使い方のヒント	9
AdGuardアカウント作成とライセンスキー登録（任意）	9
AdGuard for iOS インストールと設定	11
AdGuardアカウント作成とライセンスキー登録	11
インストールとライセンス認証	12
Safariでの広告ブロック	13
Safariで非表示にしたい内容をブロック	14
Safari以外のアプリでのブロック設定	14
使い方のヒント	15

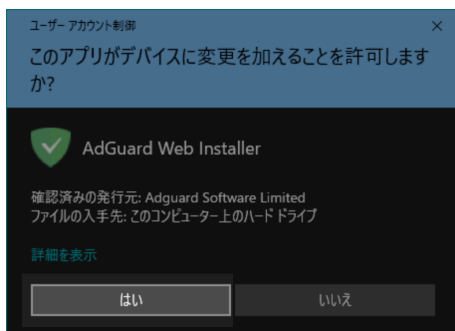
AdGuard for Windows インストールと設定

インストール、基本設定、ライセンス認証

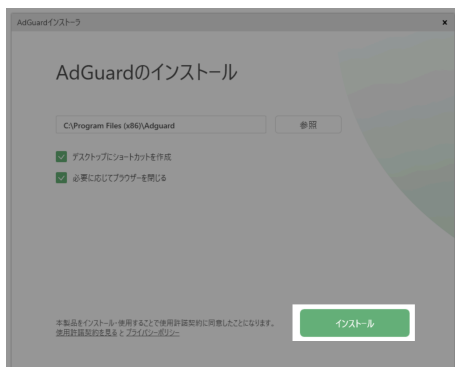
1. WindowsのWebブラウザで製品Webページにアクセスし、アプリのインストールプログラムのダウンロードを開始します。

製品Webページ: adguard.com

2. ダウンロードしたインストールプログラムを実行します。ユーザーアカウント制御ダイアログが表示された場合は「はい」を選択します。

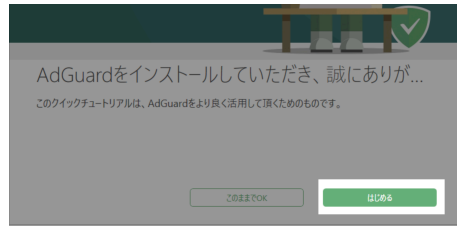


3. インストールプログラムが起動したら「インストール」を選択します。

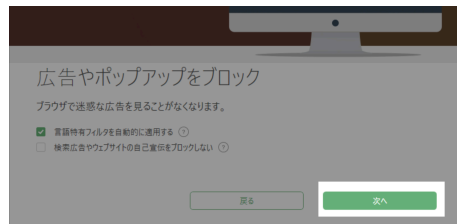


4. インストールが完了すると、AdGuardアプリが起動し、設定をガイドするクイックチュートリアルが開きます。「はじめる」を選択し

ます。



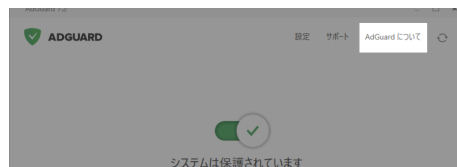
5. ガイドに従って「次へ」を選択し、設定を進めます。



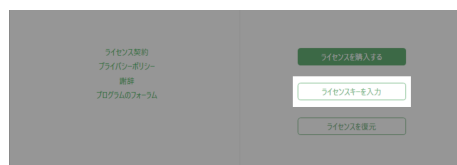
6. 設定が完了したら「完了」を選択します。



7. AdGuardが起動したら、メイン画面の「AdGuardについて」を選択します。



8. 「ライセンスキーを入力」を選択します。



9. ライセンスキーを入力して「ライセンスを認証する」を選択します。



10. ライセンスが認証され、有効になったことを確認します。



11. 「AdGuardについて」を選択してメイン画面に戻ります。



以上で基本的な設定は完了です。さらに設定を行うには、AdGuardアプリのメイン画面から「設定」を開きます。

使い方のヒント

- httpsで通信を暗号化するWebサイトでブロックを有効にするには、「設定」>「ネットワーク」>「HTTPSフィルタリング」の「HTTPSプロトコルをフィルタリング」をオンにする必要があります。多くのWebサイトで広告が表示される場合は、この設定がオフになっていないかをご確認ください。
- 「設定」>「拡張機能」>「AdGuardアシスタント」を有効にすると、Webブラウザのウィンドウ（デフォルトでは右下）に**AdGuardアシスタント**アイコンが表示されます。このアイコンから、Webページ内のアイテムのブロックや、サイトのフィルタリングからの除外などの操作が行えます。
- コンテンツのブロックを行いたくないときは、AdGuardホーム画面のメインスイッチを一時的にオフにすることができます。あるいは、WebブラウザではAdGuardアシスタントから30秒間フィルタリングを停止することができます。
- コンテンツのブロックを行いたくないアプリは、「設定」>「ネットワークの設定」>「アプリケーションのトラフィックを自動的にフィルタリング」の「フィルタリングされるアプリの一覧」でAdGuardによる保護から除外することができます。

AdGuardアカウント作成とライセンスキー登録（任意）

AdGuardアカウントを作成し、ライセンスキーを登録すると、ライセンスキーの管理が行えます。デバイスが利用できなくなった場合でも、デバイスのライセンスを解除し、別のデバイスで利用することができます。

AdGuardアカウントの作成とライセンスキーの登録は、以下の手順で行います。

ご注意: noreply@adguard.com からのメールが受信できるように、迷惑メールフィルタなどを設定しておいてください

1. Microsoft Edge、Internet Explorer、Google Chrome等のWebブラウザで 製品Webページ adguard.com にアクセスします。
2. 広い画面の場合は右上、狭い画面の場合はメニューから「マイ・アカウント」を選択します。
3. ログインページで「サインアップ」を選択します。



4. メールアドレス、パスワードを入力し、確認のために同じパスワードをもう一度入力して「登録」を選択します。

The screenshot shows the AdGuard sign-up page. At the top is the AdGuard logo. Below it is the title 'サインアップ' (Sign Up). There are three input fields: 'メールアドレス' (Email Address), 'パスワード' (Password), and '確認' (Confirm). Below the fields is a checkbox with the text 'AdGuardに関するアップデートをメールで頻繁に送信いたしますか？このメール購読はいつでも解除できます。' (Do you want to receive frequent updates about AdGuard via email? You can unsubscribe from this email subscription at any time.). Below the checkbox is a line of text: '登録することにより、AdGuardの利用規約に従うことに同意したことになります。' (By registering, you agree to follow the AdGuard Terms of Use.). At the bottom is a green button labeled '登録' (Register).

5. 登録したメールアドレス宛に「Adguard パーソナルアカウントへようこそ」メールが届きます。メールの「アカウント認証」のリンクを選択します。

The screenshot shows the AdGuard welcome email. At the top is the AdGuard logo. Below it is the title 'AdGuard パーソナルアカウントへようこそ！' (Welcome to AdGuard Personal Account!). Below the title is a line of text: 'ご登録ありがとうございます！このメールアドレスにてAdGuardのアカウントを作成いたします。認証するには下のボタンを押してください。' (Thank you for registering! We will create an AdGuard account with this email address. Please press the button below to verify.). At the bottom is a green button labeled 'アカウントを認証' (Verify Account).

6. 「マイ・アカウント」画面に戻り、メールアドレスとパスワードを入力して「サインイン」を選択します。

The screenshot shows the AdGuard login page. At the top is the title 'ログイン' (Login). There are two input fields: 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password). Below the fields are two buttons: a green button labeled 'サインイン' (Sign In) and a button labeled 'サインアップ' (Sign Up).

7. 「ライセンス」タブで「追加」を選択します。
8. ライセンスキーを入力して「ライセンスを追加」を選択します。

The screenshot shows the AdGuard license addition page. At the top is the title '紐づけされていないライセンスを追加' (Add unlinked license). Below the title is an input field labeled 'ライセンスを入力' (Enter license). Below the field is a green button labeled 'ライセンスを追加' (Add license).

9. 追加したライセンスキーが表示されたら完了です。

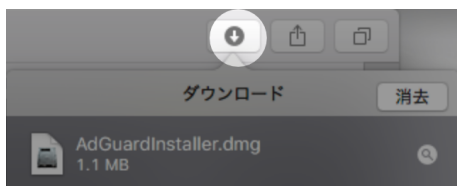
AdGuard for macOS インストールと設定

インストール、基本設定、ライセンス認証

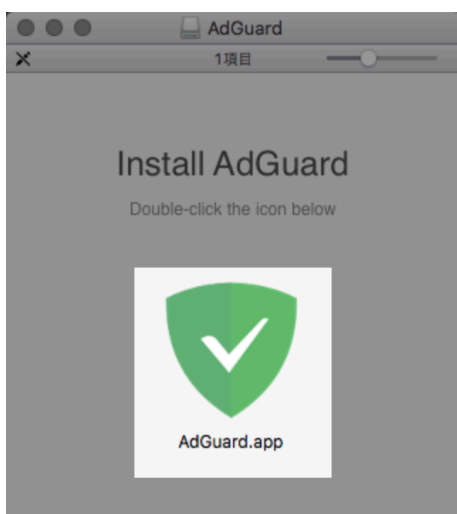
1. macOSのWebブラウザで製品Webページにアクセスし、アプリのインストールプログラムのダウンロードを開始します。

製品Webページ: adguard.com

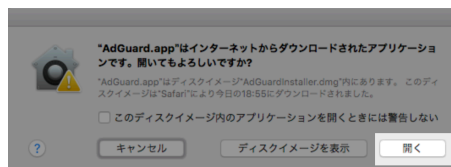
2. Webブラウザでダウンロードしたファイルを選択すると、ディスクイメージがマウントされます。設定によりディスクイメージが自動的にマウントされない場合は、ダウンロードした「AdGuardinstaller.dmg」を開いてマウントしてください。



3. マウントされたディスクに表示されるAdGuardアイコンをダブルクリックしてインストールします。



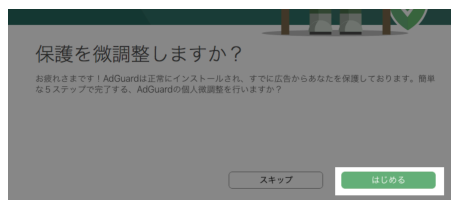
4. ダウンロードしたアプリケーションを開く許可を求められたら「開く」を選択します。



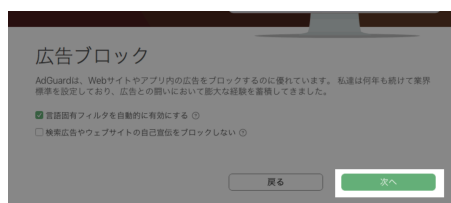
5. インストールプログラムが起動したら「インストール」を選択します。



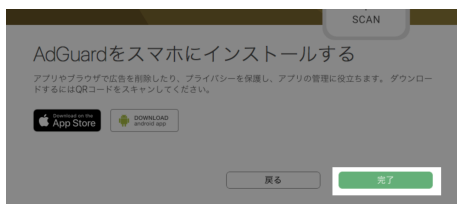
6. インストールが完了すると、AdGuardアプリが起動し、設定をガイドするクイックチュートリアルが開きます。「はじめる」を選択します。



7. ガイドに従って「次へ」を選択し、設定を進めます。



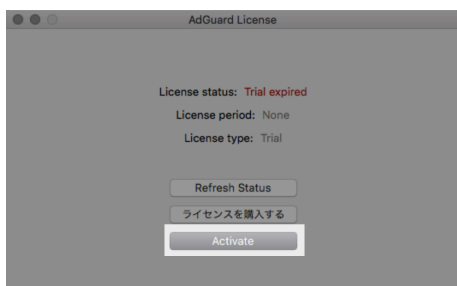
8. 設定が完了したら「完了」を選択します。



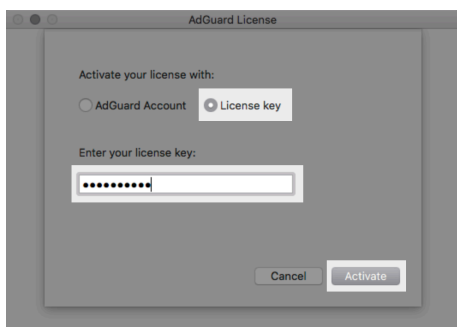
9. メニューバーのAdGuardアイコンをクリックし、ギアアイコンからメニューを開いて「ライセンス」を選択します。



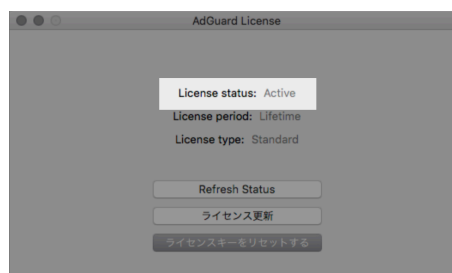
10. 「Activate」を選択します。



11. 「License Key」を選択し、ライセンスキーを入力して「Activate」を選択します。



12. ライセンスが有効になったことを確認します。



13. ウィンドウを閉じます。

以上で基本的な設定は完了です。さらに設定を行う場合、メニューバーのAdGuardアイコンから「設定」を開きます。

使い方のヒント

- httpsで通信を暗号化するWebサイトでブロックを有効にするには、「設定」>「ネットワーク」>「httpsプロトコルをフィルタリング」をオンにします。多くのWebサイトで広告が表示される場合は、この設定がオフになっていないかをご確認ください。
- 「設定」>「拡張機能」>「AdGuardアシスタントを有効にする」をオンにすると、Webブラウザのウィンドウ（デフォルトでは右下）に**AdGuardアシスタント**アイコンが表示されます。このアイコンから、Webページ内のアイテムのブロックや、サイトのフィルタリングからの除外などの操作が行えます。
- コンテンツのブロックを行いたくないときは、メニューバーのAdGuardアイコンをクリックし、メインスイッチを一時的にオフにすることができます。あるいは、WebブラウザではAdGuardアシスタントから30秒間フィルタリングを停止することができます。
- コンテンツのブロックを行いたくないアプリは、「設定」>「ネットワーク」>「アプリケーションを自動的にフィルタリングする」の「アプリケーション...」でAdGuardによる保護から除外することができます。

AdGuardアカウント作成とライセンスキー登録（任意）

AdGuardアカウントを作成し、ライセンスキーを登録すると、ライセンスキーの管理が行えます。デバイスが利用できなくなった場合でも、デバイスのライセンスを解除し、別のデバイスで利用することができます。

AdGuardアカウントの作成とライセンスキーの登録は、以下の手順で行います。

ご注意: noreply@adguard.com からのメールが受信できるように、迷惑メールフィルタなどを設定しておいてください

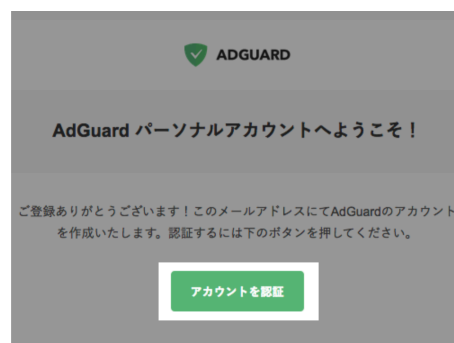
1. Safari等のWebブラウザで 製品Webページ adguard.com にアクセスします。
2. 広い画面の場合は右上、狭い画面の場合はメニューから「マイ・アカウント」を選択します。
3. ログインページで「サインアップ」を選択します。



4. メールアドレス、パスワードを入力し、確認のために同じパスワードをもう一度入力して「登録」を選択します。



5. 登録したメールアドレス宛に「Adguard パーソナルアカウントへようこそ」メールが届きます。メールの「アカウント認証」のリンクを選択します。



6. 「マイ・アカウント」画面に戻り、メールアドレスとパスワードを入力して「サインイン」を選択します。

7. 「ライセンス」タブで「追加」を選択します。
8. ライセンスキーを入力して「ライセンスを追加」を選択します。

9. 追加したライセンスキーが表示されたら完了です。

AdGuard for Android インストールと設定

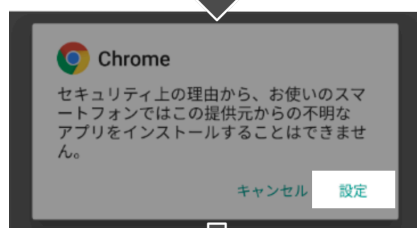
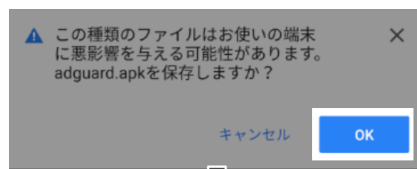
インストールとライセンス認証

1. WindowsのWebブラウザで製品Webページにアクセスし、アプリのインストールプログラムのダウンロードを開始します。



製品Webページ: adguard.com

2. アプリをインストールするには、**提供元不明なアプリケーションのインストール**を許可する必要があります。
- ダウンロード画面にAndroidバージョン別の設定方法が記載されていますので、ご利用のバージョンでの設定方法をご確認ください。



Android 8での提供元不明なアプリケーションのインストール許可

3. 「adguard.apk」ファイルのダウンロードが完了したら「開く」を選択してAdGuardアプリのインストールを行います。
4. AdGuardアプリのインストールが完了して起動すると、設定ガイドが始まります。ガイドに従って設定を完了します。
5. AdGuardホーム画面左上のメニューから「プレミアム版を入手」を開きます。



6. 右上のメニューから「プレミアム版をアクティベート」を選択します。
7. 初期画面はアカウント入力です。「ライセンスキー」タブを選択します。
8. ライセンスキーを入力して「アクティベート」を選択し、認証します。

使い方のヒント

- コンテンツのブロックを行いたくないときは、AdGuardホーム画面のメインスイッチを一時的にオフにすることができます。
- コンテンツのブロックを行いたくないWebサイトは、「設定」 > 「コンテンツブロック」 > 「ホワイトリスト」に追加してフィルタリングから除外することができます。
- コンテンツのブロックを行いたくないアプリは、「設定」 > 「アプリの管理」でAdGuardによる保護から除外することができます。
- Androidでは複数のVPNを同時に利用できないため、他のVPNを利用する場合は一時的にAdGuardをオフにするか、「設定」 > 「ネットワーク」 > 「フィルタリング方式」でフィルタリング方式を「ローカルVPN」から「ローカルHTTPプロキシ」に変更する必要があります。
- httpsで通信を暗号化するWebサイトでブロックを有効にするには、「設定」 > 「ネットワーク」 > 「HTTPSフィルタリング」をオンにする必要があります。多くのWebサイトで広告が表示される場合は、この設定がオフになっていないかをご確認ください。

AdGuardアカウント作成とライセンスキー登録（任意）

AdGuardアカウントを作成し、ライセンスキーを登録すると、ライセンスキーの管理が行えます。デバイスが利用できなくなった場合でも、デバイスのライセンスを解除し、別のデバイスで利用することができます。

AdGuardアカウントの作成とライセンスキーの登録は、以下の手順で行います。

ご注意: noreply@adguard.com からのメールが受信できるように、迷惑メールフィルタなどを設定しておいてください

1. Chrome等のWebブラウザで 製品Webページ adguard.com にアクセスします。
2. 広い画面の場合は右上、狭い画面の場合はメニューから「マイ・アカウント」を選択します。

3. ログインページで「サインアップ」を選択します。



The screenshot shows a login page with a 'パスワード' (Password) input field at the top. Below it is a green 'サインイン' (Sign In) button. Underneath that is a white 'サインアップ' (Sign Up) button with a green border. At the bottom, there is a link that says 'パスワードを忘れましたか?' (Forgot your password?).

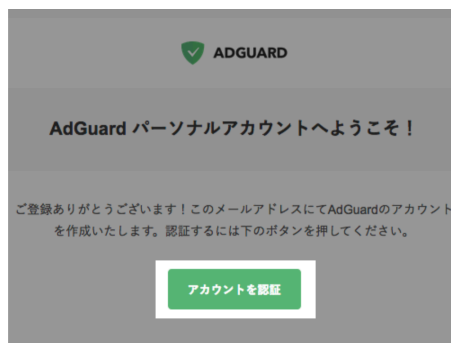
4. メールアドレス、パスワードを入力し、確認のために同じパスワードをもう一度入力して「登録」を選択します。



The screenshot shows a sign-up page with the AdGuard logo at the top. The title is 'サインアップ' (Sign Up). There are three input fields: 'メールアドレス' (Email Address), 'パスワード' (Password), and '確認' (Confirm). Below the fields is a checkbox with the text 'AdGuardに関するアップデートをメールで頻繁に送信いたしますか? このメール購読はいつでも解除できます。' (Do you want to receive frequent email updates about AdGuard? You can unsubscribe from this email subscription at any time.). Below the checkbox is a link that says '登録することにより、AdGuardの利用規約に従うことに同意したことになります。' (By registering, you agree to follow the AdGuard Terms of Service.). At the bottom is a green '登録' (Register) button.

5. 登録したメールアドレス宛に「Adguard パーソナルアカウントへようこそ」メールが届きます。メールの「アカウント認証」のリンク

を選択します。



The screenshot shows an account verification page with the AdGuard logo at the top. The title is 'AdGuard パーソナルアカウントへようこそ!' (Welcome to AdGuard Personal Account!). Below the title is a message: 'ご登録ありがとうございます! このメールアドレスにてAdGuardのアカウントを作成いたします。認証するには下のボタンを押してください。' (Thank you for registering! We will create an AdGuard account with this email address. Please press the button below to verify.). At the bottom is a green 'アカウントを認証' (Verify Account) button.

6. 「マイ・アカウント」画面に戻り、メールアドレスとパスワードを入力して「サインイン」を選択します。



The screenshot shows a login page with the title 'ログイン' (Login). There are two input fields: 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password). Below the fields are two buttons: a green 'サインイン' (Sign In) button and a white 'サインアップ' (Sign Up) button with a green border.

7. 「ライセンス」タブで「追加」を選択します。

8. ライセンスキーを入力して「ライセンスを追加」を選択します。



The screenshot shows a license addition page with a close button (X) in the top right corner. The title is '紐づけされていないライセンスを追加' (Add unlinked license). There is an input field labeled 'ライセンスを入力' (Enter license). Below the field is a green 'ライセンスを追加' (Add License) button.

9. 追加したライセンスキーが表示されたら完了です。

AdGuard for iOS インストールと設定

AdGuardアカウント作成とライセンスキー登録

ご注意: noreply@adguard.com からのメールが受信できるように、迷惑メールフィルタなどを設定しておいてください

1. Safariで 製品Webページ adguard.com にアクセスします。



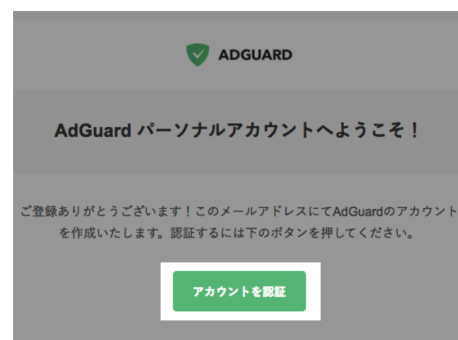
2. 広い画面の場合は右上、狭い画面の場合はメニューから「マイ・アカウント」を選択します。
3. ログインページで「サインアップ」を選択します。



4. メールアドレス、パスワードを入力し、確認のために同じパスワードをもう一度入力して「登録」を選択します。



5. 登録したメールアドレス宛に「Adguard パーソナルアカウントへようこそ」メールが届きます。メールの「アカウント認証」のリンクを選択します。



6. 「マイ・アカウント」画面に戻り、メールアドレスとパスワードを入力して「サインイン」を選択します。

7. 「ライセンス」タブで「追加」を選択します。
8. ライセンスキーを入力して「ライセンスを追加」を選択します。

9. 追加したライセンスキーが表示されたら完了です。

インストールとライセンス認証

1. で製品Webページにアクセスし、アプリのインストールプログラムのダウンロードを開始します。

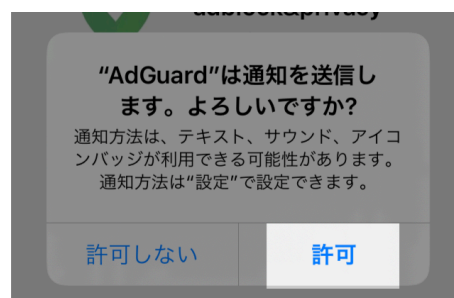


製品Webページ: adguard.com

2. 「ダウンロード」を選択すると、App StoreでAdGuard for iOSが表示されます。
3. 「入手」ボタンを選択し、必要に応じてApple IDの認証を行ってAdGuardをインストールします。



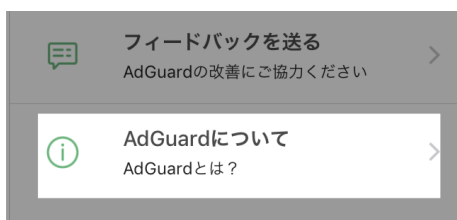
4. AdGuardを最初に開くと、通知の許可を求めるメッセージが表示されます。「許可」または「許可しない」を選択します。この選択は、iOSの通知設定で後から変更できます。



5. 画面右上にある設定（ギアアイコン）を選択します。



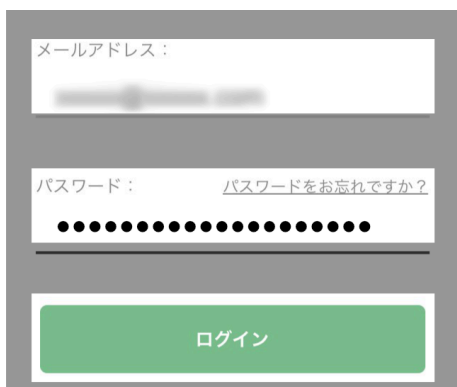
6. 開いた画面の下の方にある「AdGuardについて」を選択します。



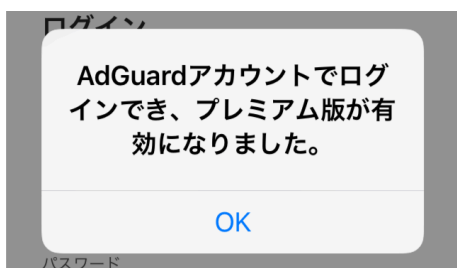
7. 画面右上にある「Log in」または「ログイン」を選択します。



8. 先ほど作成したAdGuardアカウントのメールアドレスとパスワードを入力してログインします。



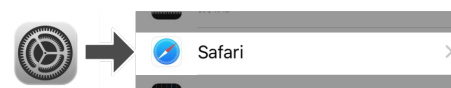
9. ライセンスが正しく認証された旨のメッセージが表示されます。



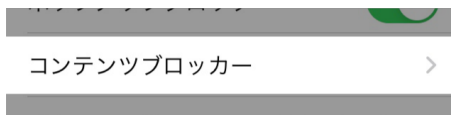
10. トップ画面から、AdGuard for iOSの使い方を説明したビデオを見ることができます。以下の説明と合わせてご参照ください。
（このビデオは、後からいつでも設定 > 「AdGuardについて」 > 「使い方」から見ることもできます）

Safariでの広告ブロック

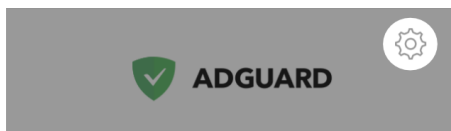
1. まず、iOSシステムの「設定」から「Safari」を選択します。



2. 「コンテンツブロッカー」を開いて、AdGuardのコンテンツブロッカーをすべてオンにしてください。



3. AdGuardトップ画面の右上の設定（ギアアイコン）を選択します。



4. 「フィルタ」を選択します。



5. フィルタを有効にします。

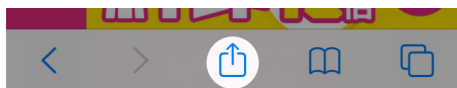


Safariで広告をブロックするには、以下のフィルタを有効にすることをお勧めします。

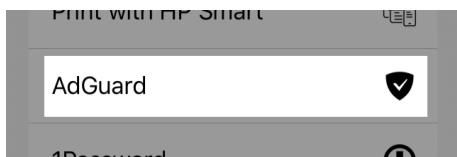
- 広告ブロッキング > AdGuardベースフィルタ および AdGuardモバイル広告フィルタ
- 言語特有フィルタ > AdGuard日本語フィルタ

Safariで非表示にしたい内容をブロック

1. Safariでページの内容を指定してAdGuardでブロックできるように設定するには、広告をブロックしたページをSafariで開いている状態で、共有アイコンを選択します。

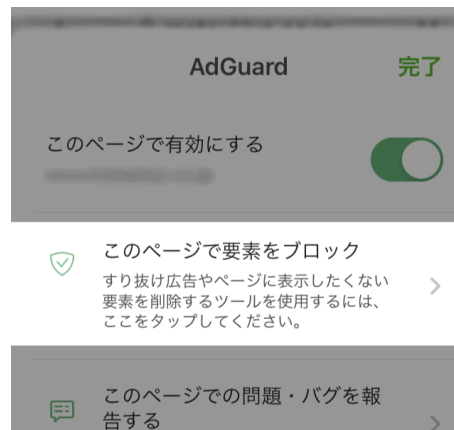


2. 共有シートのアクション一覧からAdGuardアイコンを選択します。

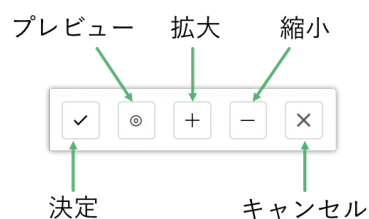


アクションの一覧にAdGuardのアイコンがない場合は、「編集」を選択してAdGuardアイコンを追加します。この操作を一度行くと、次から一覧にAdGuardアイコンが表示されます。

3. AdGuardアシスタントが起動したら、「このページで要素をブロック」を選択します。



4. 「開始」を選択、ブロックしたい要素を選択すると、次のようなコントロールが表示されます。



5. 「+」と「-」で緑色の枠を拡大縮小します。
6. プレビューして問題なければ、左端のチェックマークを選択して決定します。
7. 選択した内容に従ってルールが作成されます。

Safari以外のアプリでのブロック設定

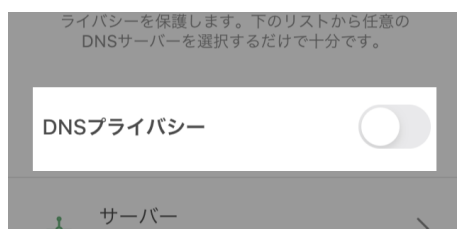
1. 画面右上の設定（ギアアイコン）を選択してAdGuard設定画面を開きます。



2. 「DNSプライバシー」を選択します。



3. 「DNSプライバシー」を有効にします。



4. 「VPNが作成されます」というメッセージが表示されるので「OK」を選択します。



5. 「AdGuardがVPN構成の追加を求めています」というメッセージが表示されるので「許可」を選択します。その後、必要に応じてFaceID/TouchID/パスコードで認証します。



6. VPN構成を追加したら「サーバー」を選択します。



7. 広告ブロックを利用するには「AdGuard DNS」を選択します。
ペアレンタルコントロールを利用するには、「AdGuard DNS Family Protection」を選択します。

AdGuardはDNSを使用するためにVPNを作成しますが、これはローカルなVPNです。外部のサーバとVPNで接続するものではありません。

使い方のヒント

- Safariで広告がブロックできていない場合、上記の「Safariでの広告ブロック」を参考にして、iOSの設定でSafariコンテンツブロッカーがすべて有効になっているかどうか、AdGuardの設定でフィルタが有効になっているかどうかを確認してください。
- 広告ブロックを行いたくないWebサイトは、Safariでページを開き、共有アイコンからAdGuardを選択して「このページで有効にする」をオフにします。無効にしたWebサイトは、AdGuardの設定（ギアアイコン）＞「ホワイトリスト」に追加されます。
- AdGuardアカウントにライセンスキーを登録すると、ライセンスキーの管理が行えます。デバイスが利用できなくなった場合でも、デバイスのライセンスを解除し、別のデバイスで利用することができます。